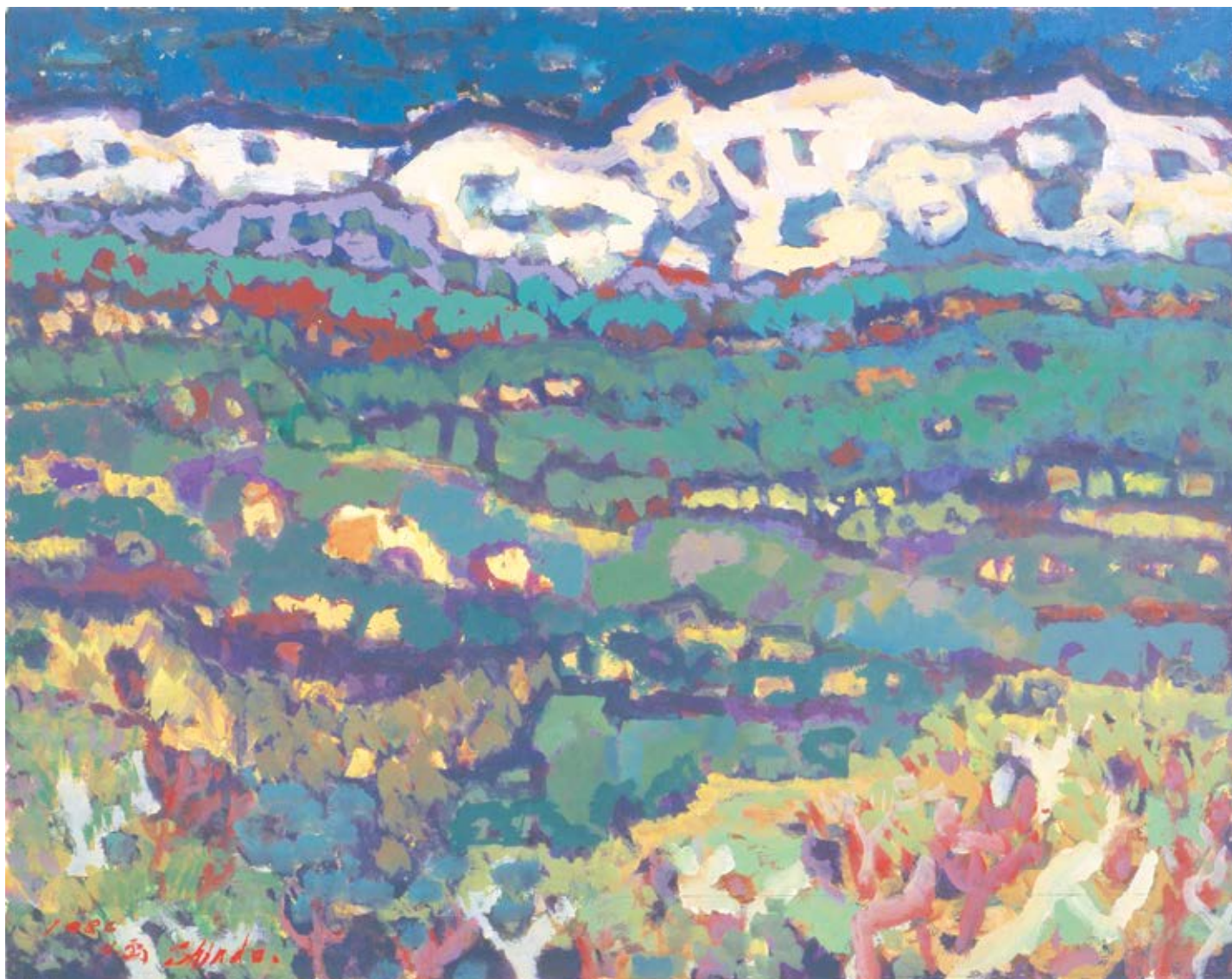


# 市議会だより

No. 68

2020.04.27



南アルプス市立美術館 所蔵

## 第1回定例会【3月】

## 南アルプスIC周辺に関連した条例と予算に質疑集中！

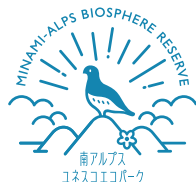
### Contents / 目次

- P02 第1回定例会の概要／議決結果
- P04 討論の概要
- P05 常任委員会委員長報告
- P08 代表質問・6会派
- P14 一般質問・6議員
- P17 常任委員会行政視察報告
- P18 政務活動報告
- P21 議会活動報告・請願の審査
- P22 市民からひとこと／お知らせ／編集後記

### 表紙作品解説 進藤 春木《アルプスの春》

進藤春木は1922(大正11)年長野県諏訪郡富士見町に生まれ、叔父である進藤章の養子となり絵の指導を受けました。地元の中学校で美術講師として教壇に立ちながら、県内における芸術文化活動の中心的な役割を担う一方、作家としても創元会・山梨美術協会・峡北美術協会などに出品を続けるなど精力的な活動を続けました。

油彩画を思わせる力強い筆致、色彩に満ち溢れた自然をモチーフとした作品からは、進藤が自然から得た感動を強く感じることができます。



# 完熟農園跡地再開発 始動および 周辺整備に着手

- ➔ 南アルプスIC周辺の再開発に約1億円を計上
- ➔ 南アルプスIC周辺開発基金条例を制定し10億円を積立！
- ➔ 令和2年度一般会計予算299億円を可決



令和2年第1回定例会が、2月28日から3月25日までの27日間の会期で開催されました。

主な議案として、令和2年度当初予算案が提出され、一般会計は総額299億2,223万6千円が可決されました。その中で今定例会の注目点は、完熟農園跡地および南アルプスIC周辺の再開発に関連した条例案、予算案等が提出されたことです。これについて常任委員会や本会議で議論が交わされ、反対・賛成討論がありました。「南アルプスIC周辺開発整備基金条例の制定」については、付託された総務常任委員会で否決すべきものとされましたが、本会議で起立採決の結果、可決となり条例の制定が決まりました。なお、関連した予算案に対しても反対・賛成討論がありました。

その他に、名取泰議員から地方自治法第100条に基づく「建築設計委託等の調査に関する決議案」が提出されましたが賛成少数のため否決となりました。

金丸市長から提出された、条例案、補正予算案、当初予算案等49案件については、慎重審議した結果、いずれも原案のとおり可決となりました。

## 議会注目事業

FEATURED BUSINESS



### 観光プロモーション事業

観光を経済の柱に育てるため、交通アクセスの向上を活かしたプロモーションを行う。



### 南アルプスIC 新産業拠点整備事業

IC周辺を企業誘致により、地域のブランド化と経済活性化を図る。



### 幸せ実感 南アルプス市健康リーグ事業

市民の健康意識向上を目的とした個人、地域、企業、行政が協働した取り組み。



### 保育料3歳未満児 第2子無償化事業

3歳未満児の第2子について、保育料無償化を実施する。



### 伊奈ヶ湖周辺再整備事業

エコパ伊奈ヶ湖を「五感で体験できる楽しみのエリア」として整備する。

# 令和2年 第1回定例会の議案に対する 議決結果等一覧表

| 起立採決を行った議案                                      | 松野 | 戸栗 | 三木 | 有野 | 櫻田 | 花輪 | 村松  | 野中 | 北村  | 矢崎 | 名取 | 小池 | 中込 | 飯野 | 齊藤 | 清水 | 河野  | 花輪 | 小林 | 深澤 | 審議結果 |
|-------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|------|
|                                                 | 昇平 | 淳  | 充  | 一成 | 力  | 幸長 | 三千雄 | 國幹 | 千代子 | 俊秀 | 泰  | 伸吾 | 恵子 | 久  | 論  | 重仁 | 木綿子 | 進  | 敏徳 | 米男 |      |
| 議案第1号 南アルプスIC周辺開発整備基金条例の制定                      | ×  |    |    |    | ×  |    |     |    |     | ×  | ×  |    | ×  |    | ×  |    |     | ×  | ×  | ×  | ○    |
| 議案第14号 令和元年度一般会計補正予算（第6号）                       | ×  |    |    |    | ×  |    |     |    |     | ×  | ×  |    | ×  |    | ×  |    |     | ×  | ×  | ×  | ○    |
| 議案第19号 令和2年度一般会計予算に対する修正案（南アルプスIC新産業拠点整備事業費を修正） |    | ×  | ×  | ×  |    | ×  | ×   | ×  | ×   | ×  |    | ×  |    | ×  | ×  | ×  | ×   |    |    |    | ×    |
| 議案第19号 令和2年度一般会計予算                              | ×  |    |    |    | ×  |    |     |    |     | ×  | ×  |    | ×  |    |    |    |     | ×  | ×  | ×  | ○    |
| 南ア議第2号 建築設計委託等の調査に関する決議                         |    | ×  | ×  | ×  |    | ×  | ×   | ×  | ×   |    |    | ×  |    | ×  |    | ×  | ×   |    |    |    | ×    |
| 同意案第2号 教育長の任命                                   | ×  |    |    |    |    |    |     |    |     | ×  | ×  |    |    |    |    |    |     |    |    |    | ○    |

1. 齊藤博明議長は除く。
2. 議案等に反対した場合のみ「×」印で表示。
3. 審議結果の「○」印は可決、「×」印は否決。

## 異議なく全会一致で可決された議案等

|          |               |                                              |                        |
|----------|---------------|----------------------------------------------|------------------------|
| 条例       | 制定            | 議案第2号                                        | 高齢者いきいきプラン策定委員会条例      |
|          | 一部改正          | 議案第3号                                        | 行政組織条例                 |
|          |               | 議案第4号                                        | 固定資産評価審査委員会条例及び手数料条例   |
|          |               | 議案第5号                                        | 職員の服務の宣誓に関する条例         |
|          |               | 議案第6号                                        | 印鑑条例                   |
|          |               | 議案第7号                                        | 災害弔慰金の支給等に関する条例        |
|          |               | 議案第8号                                        | 森林振興協議会条例等             |
|          |               | 議案第9号                                        | 総合交流ターミナル条例            |
|          |               | 議案第10号                                       | 山梨県北岳山荘の管理に関する条例及び山荘条例 |
|          |               | 議案第11号                                       | 都市公園条例                 |
|          |               | 議案第12号                                       | 市営住宅条例                 |
|          | 議案第46号        | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例           |                        |
|          | 南ア議第1号        | 議会委員会条例                                      |                        |
| 廃止       | 議案第13号        | 慈恵寮福祉基金条例及び養護老人ホーム条例                         |                        |
| 令和元年度予算  | 議案第15号        | 国民健康保険特別会計補正予算（第4号）                          |                        |
|          | 議案第16号        | 後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）                         |                        |
|          | 議案第17号        | 介護保険特別会計補正予算（第5号）                            |                        |
|          | 議案第18号        | 山梨県北岳山荘管理事業特別会計補正予算（第1号）                     |                        |
|          | 議案第43号        | 一般会計補正予算（第7号）                                |                        |
| 令和2年度予算  | 議案第20号        | 国民健康保険特別会計予算                                 |                        |
|          | 議案第21号        | 後期高齢者医療特別会計予算                                |                        |
|          | 議案第22号        | 介護保険特別会計予算                                   |                        |
|          | 議案第23号        | 居宅介護予防支援事業特別会計予算                             |                        |
|          | 議案第24号        | 芦安農業集落排水事業特別会計予算                             |                        |
|          | 議案第25号        | 温泉給湯事業特別会計予算                                 |                        |
|          | 議案第26号        | 山梨県北岳山荘管理事業特別会計予算                            |                        |
|          | 議案第27号        | 芦安簡易水道事業特別会計予算                               |                        |
|          | 議案第28号        | 芦安恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算                       |                        |
|          | 議案第29号        | 中尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算                   |                        |
|          | 議案第30号        | 高尾山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算                   |                        |
|          | 議案第31号        | 城山外一字恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算                    |                        |
|          | 議案第32号        | 雨鳴山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算                      |                        |
|          | 議案第33号        | 土地取得造成事業特別会計予算                               |                        |
|          | 議案第34号        | 水道事業会計予算                                     |                        |
|          | 議案第35号        | 下水道事業会計予算                                    |                        |
|          | 議案第36号        | 自動車運送事業会計予算                                  |                        |
| 議案第44号   | 一般会計補正予算（第1号） |                                              |                        |
| 指定管理者の指定 | 議案第39号        | 農業体験実習館の指定管理者                                |                        |
|          | 議案第40号        | 金山沢公園の指定管理者                                  |                        |
| その他      | 議案第37号        | 第2次総合計画後期基本計画                                |                        |
|          | 議案第38号        | 財産の譲渡                                        |                        |
|          | 議案第41号        | 市道路線の認定                                      |                        |
|          | 議案第42号        | 市道路線の変更                                      |                        |
|          | 議案第45号        | 財産の取得（小学校教師用教科書・指導書）                         |                        |
| 同意       | 同意案第1号        | 監査委員の選任                                      |                        |
| 諮問       | 諮問第1号         | 人権擁護委員候補者の推薦                                 |                        |
| 請願       | 南ア議第3号        | 閉会中の継続審査（国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願） |                        |

# 本会議での討論の概要

## 議案第1号 南アルプスIC周辺開発整備基金条例の制定

### 反対意見

基金には造成費5億円も含まれるというが、全国では、企業側の都合による中途解約や、1～2年の賃借料を違約金として払えば、残りの契約期間の賃借料を求めない事例があることから、5億円を本当に回収できるかわからない。また将来的に土地購入までを想定している基金に、今の時点で賛成するわけにはいかない。完熟農園の跡地利用は、市がお金をかけない「民設民営」という所から出発している。その原点に立ち返るべきだ。

●名取 泰 議員

### 賛成意見

南アルプスIC周辺開発整備基金条例の制定については、昨年11月に産業拠点整備事業についての、財政計画第9期中期財政見通しの中で、本事業の財源として約20億円の基金繰り入れが必要との説明を受けている。また、昨年12月の議員説明会においても、将来計画を見据えての基金制定が肝要との指摘も受けており、市民の皆さんからも一日も早い事業執行を望むことから基金条例制定については賛成するものである。

●野中 國幹 議員

## 議案第19号 令和2年度一般会計予算に対する修正案（南アルプスIC新産業拠点整備事業費を修正）

### 提案理由

修正の内容は審査委員会の報酬、人材派遣の委託費、事業用地の除草補助金と、地権者への地代を除いた、残りの事業費を減額するものである。委員会審査で、同事業の企業支援条例で定めた限度額5億円以外に、様々な費用が生じることが明らかになった。さらに市が負担する経費の総額は現時点では示せないという答弁であった。事業費に何が含まれるかも、総額がいくらになるのかもわからない曖昧な状況で、予算の執行は認められない。

●名取 泰 議員

### 反対意見

南アルプスIC新産業拠点整備事業について、議会は再開発の可否、手法、誘致策、財源措置など順次、結論を出して来た。議会は過去に議決された事柄を前提に議論しなければならない。市は、この事業に係る経費は事業期間の中で収支し、市の負担にしないとしている。また、「募集案内」を作成次第、議会に示すとしていることから、提案された修正案では事業進出がままならず、市民の意向に応えることが出来ない。よって、修正案には反対する。

●村松 三千雄 議員

## 南ア議第2号 建築設計委託等の調査に関する決議

### 反対意見

本件はすでに監査委員会から報告を受け、議会や常任委員会において審議し予算および決算とも議決、認定したものであり、特別委員会設置は昨年9月、12月議会においても否決されたものである。広河原山荘については、国土交通省告示15号、98号基準と官庁施設的设计業務等積算要領を運用している。桃源文化会館については国土交通省告示15号に基づいた適切な積算である。以上から、充分審議された案件であるものと判断し反対するものである。「過去の批判だけではこの街はよくなるしない」ことを添える。

●飯野 久 議員

### 賛成意見

建築設計委託等の調査についての決議(案)の提出は、昨年9月そして12月議会に続いて3度目である。「南アルプス市情報公開条例」に基づく公文書公開請求で得た240ページにも及ぶ資料を調査した結果、広河原山荘新築工事及び桃源文化会館改修工事における建築設計料の算定において多額な損失発生疑義があることを確認した。議会として、徹底した原因究明を行うことが必要であり、地方自治法第100条の規定に基づく建築設計委託等調査特別委員会の設置に賛成する。

●櫻田 力 議員

## 議案第14号 令和元年度一般会計補正予算（第6号）

### 反対意見

「周辺」とはどこかも不明瞭であり、計画書も存在していない状況での特定目的基金への10億円の執行は、総合政策部が自ら財政規律を破る事であり、庁内規律の崩壊を招きかねない。また「ふるさと納税の一部が基金の財源になっているとも言える」との答弁があったが、ふるさと納税者が望んでいるのは「開発事業」ではないはず。市の魅力を高める施策やコロナウイルス対策へも柔軟に予算を振りむけるよう、本補正予算に反対する。

●松野 昇平 議員

## 同意案第2号 教育長の任命

### 反対意見

教育委員会は戦後、個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間を育成するという教育基本法に基づき、地方分権、民意の反映などを目的に発足した。それだけに教育長の任命は、より丁寧な説明を要するが、議会最終日、本会議直前に任命議案を提出するのは強引すぎる。また、直近まで市長の右腕として部長職にあった方を教育長に任命するというのは、「一般行政からの独立」という教育制度の在り方から、疑念を持たざるを得ない。

●名取 泰 議員

# 総務

## 常任委員会

- 委員長／矢崎 俊秀
- 副委員長／櫻田 力
- 委員／村松三千雄、野中国幹、名取泰、飯野久、小林敏徳
- 当委員会に付託された案件／11件

### 条例

#### ● 南アルプス圏周辺開発整備基金条例の制定

**Q** 南アルプス圏周辺整備の基金について、周辺とは、範囲が決まっておらず示せないというが、まだ、規定がないのか。

**A** 範囲や面積など具体的なこと、は、南アルプス圏周辺という概念の下、土地活用の可能性を把握したうえで示したいので、開発可能性の調査をしたい。

#### ● 行政組織条例の一部改正

**Q** 農林商工部を産業観光部に改正され「農林」という名前が消えてしまうが、その意図は。

**A** 市長の説明要旨でも次年度以降、観光分野に力をいれていくことで、部の中に観光を入れていきたい。また、農林商工観光部も検討したが、部名としては長い。ため農林商工を産業という形で表現した。

#### 補正予算（令和元年度）

#### ● 一般会計補正予算（第6号）

**Q** 南アルプス圏新産業拠点整備室が所管する「南アルプス圏周辺開発整備基金積立金事業」について、基金は、最終的にはどのくらいを見込んでいるのか。

**A** 事業費は、概ね20億円と説明させていただいている。基金はこれからかかる事業費に対し、特に金額を決めておらず、財政状況により積み立てていく。

#### 当初予算（令和2年度）

#### ● 一般会計予算

**Q** 南アルプス圏新産業拠点整備室が所管する「南アルプス圏新産業拠点整備事業」について、募集要項が未だに作成されていないが。

**A** 令和元年度での作成を見込んでいたが、重要な契約案件の

設定、法務チェックに時間を要し、年度内の作成は難しい状況にある。しかし、内容・デザイン処理等は済んでおり、作成は、法的表現の確定と審査委員会の確認、印刷製本作業となるので、準備が整いつ次第、職員で作成し、公募前には、庁議で決定し、議員説明を行う考えでいる。

**Q** 秘書課が所管する「《新規》シティープロモーション事業」について、秘書課が所管する理由は。

**A** これまで、秘書課で広報紙等により市民に向けて市政情報発信してきたが、今後、観光、移住定住の政策を進める上で、首都圏、東海、中京圏など、外に向けて情報を発信していく必要がある。



東京交通会館で開催された山梨まるごと移住セミナー&相談会のようす

### その他

#### ● 第2次総合計画後期基本計画

**Q** 前期の基本計画との違いの1つに「市民・地域・事業者」と「行政」の役割を明確にしたとあるが、市民や地域にこのことを理解してもらい、役割を果たしてもらったために何をやるのか。

**A** 要望があれば、説明会などを開いて周知して協力を依頼する。

議案第1号については、櫻田力議員、名取泰議員、小林敏徳議員より反対討論、また、村松三千雄議員、野中国幹議員、飯野久議員より賛成討論があり、起立採決の結果、賛成3人、反対3人の同数となり、委員長採決で否決すべきものと決定しました。

議案第19号については、名取泰議員より修正案が提出され、修正案に対し、起立採決を行った結果、賛成2人、反対3人で否決すべきものと決定しました。

その後、原案に対し、起立採決を行った結果、賛成3人、反対2人で可決すべきものと決定しました。請願第211号については、閉会中の継続審査となりました。

その他の案件については、慎重審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

# 厚生文教

## 常任委員会

- 委員長／有野一成
- 副委員長／北村千代子
- 委員／松野昇平、戸栗淳、小池伸吾、中込恵子
- 当委員会に付託された案件／16件

### 補正予算(令和元年度)

#### ● 一般会計補正予算(第6号)

**Q** 戸籍市民課が所管する「個人番号カード発行事業」について、マイナンバーカードを作る手続きに対して市の支援はあるのか。

**A** 令和4年度中に、ほとんどの住民に取得をしていただくことを想定している中で、今後は、企業等から要請があれば、申請自体をアウトで行うことを考えている。

### 当初予算(令和2年度)

#### ● 一般会計予算

**Q** 国保年金課が所管する「後期高齢者医療特別会計事務費繰出

金」について、職員給与費2,332万7千円は、3人分としては異常に高いのではないかと。

**A** 職員3名分の職員給与費、手当、共済費、および共済組合負担金が含まれた繰出金であり、職員構成は、課長補佐と職員2名である。

**Q** 環境課が所管する「資源回収センター運営事業」について、有価物売り払い収入が昨年と同じ800万円であるが、この金額は適切か。

**A** 単価は、エコ協同組合により、3カ月ごとに見直しており、適正と思っている。

**Q** 子育て支援課が所管する「放課後児童クラブ運営事業」について、夏休みの開所時間30分繰り上げを、冬休みや春休みに拡大する考えは。

**A** 今のところは夏休みを考えている。

**Q** 市立児童館が所管する「児童館活動事業」について、今年度から一旦家に帰ってから、児童館を利用する方針が出され、一部の保護者から見直しの要望があったが、その後の経過は。

**A** 八田児童館については、その特殊性を考慮し、登録制にし、受け入れていく。

**Q** 介護福祉課が所管する「養護老人ホーム慈恵寮施設管理事業」について、無人化した施設の管理で約400万円の経費が掛かる。期限付きで空いた施設を活用する考えは。

**A** 老朽化しているため、公共施設の再配置方針で、廃止、取り壊しの方向である。新年度には方向性を早く判断して、長い期間費用が掛からないようにしていく。



令和2年4月から無人化となった慈恵寮

**A** 調査結果にもよるが、長寿命化計画を策定する段階で、昨年度までに建物の健全性を把握する調査を実施した。その調査の中で長寿命化改良工事をすれば、建て替えずに30年以上は使えると判断して進めている。

**Q** 学校教育課が所管する「いじめ・不登校未然防止推進事業」について、5年と中一の児童生徒にQU検査をしているが、結果とその対応は。

**A** 全ての先生が調査結果を共有し、対応について会議をする中で今後に活かし、2度目の検査でさらに深めていく。その他の学年については、学校の費用で全学年を行っている。

**Q** 市立学校給食センターが所管する「学校給食センター運営事業」について、給食センターと契約している農業者と農業生産法人の数と、現在の野菜の地産地消率は。

**A** 農業者は7件、農業生産法人は1社であり、主要5品目の地産地消率は約10%である。

**Q** 教育総務課が所管する「新規《若草小学校校舎長寿命化改良事業》について、耐力度調査等を行って、適切か判断するとあるが、調査の結果で建て替えになる可能性があるのか。

条例案、補正予算案、当初予算案、およびその他案については、慎重審査した結果、原案のとおり決すべきものと決定しました。

# 産業土木

## 常任委員会

- 委員長／斉藤 諭
- 副委員長／三木 充
- 委員／花輪 幸長、清水 重仁、河野 木綿子、花輪 進、深澤 米男
- 当委員会に付託された案件／23件

### 当初予算（令和2年度）

#### ● 一般会計予算

**Q** 農政課が所管する「松くい虫防除対策事業」について、年2回の被害木の調査は、市全体の森林を調査するののか。

**A** 森林の調査は毎年行っており、概ね把握している。それ以外の箇所を、芦安から甲西にかけて調査し、防除を実施する箇所を決める。

**Q** 農政課が所管する「担い手支援事業（地域おこし協力隊支援事業）」について、今までに何人が新規就農で市内に定住し、事業を行っているののか。

**A** 令和元年度までの実績で16名の方が新規に就農している。



地域おこし協力隊の活動のようす

**Q** 農政課が所管する「有害鳥獣被害防止対策支援事業」について、囲い罫の設置数や規模、金額ほどの程度か。

**A** 平岡、湯沢、塩前の3カ所に設置している。大きさは現場のスペースによって様々であり、地元と協議して決める。概ね縦4.5m、横4.5mから7mぐらいの広さであり、金額は70〜80万円程度である。

**Q** 県宮林道南アルプス線の崩落状況について、復旧の見通しは。

**A** 山梨県が調査、測量を行い、令和2年4月に工事に着手する。進捗状況にもよるが、例年より1週間ほど遅れるので、6月最後の金曜日には復旧できる見通しと聞いている。県と常に連携を取りながら進めていく。

**Q** 観光商工課が所管する「外国人誘客促進事業」について、北岳などの有名な観光地に、英語、中国語、韓国語等の看板を設置する考えは。

**A** インバウンド観光として観光プロモーション事業で行っていく。広河原のインフォメーションセンターにテレビモニターを設置し、登山のマナーや安全面などの案内を映像配信する予定である。



芦安山岳館

**Q** ユネスコエコパーク推進室が所管する「芦安山岳館管理運営事業」について、現在、館長が不在であるが、今後の見通しは。

**A** 山梨県山岳連盟の著名な方をはじめ、何人かの方に相談したが、それぞれ諸事情があり、お断りされている。ふさわしい人物にお願い

したいと考えている。

**Q** 農林土木課が所管する「県宮土地改良参画事業（八田西部地区）」について、企業参入を図っていくとのことだが、予定されている企業数は。

**A** 現在1社から希望を受けている状況である。圃場整備の予定面積27.3haのうち、5から10ha程度を希望している。

#### ● 山梨県北岳山荘管理事業 特別会計予算

**Q** 昨年の台風の影響で林道や登山道が荒れているが、令和2年度の登山者や山荘利用者の見込みは。

**A** 登山者が減少することが予想されるが、料金改定や安全対策も含めて、早急にホームページや山岳雑誌等で現況の情報発信を行い、出来るかぎり来てもらうように対応する。また、大樺沢ルートについては、河原の中を通るルートであり、災害の影響を受けやすいので、新ルートについて有識者を含めて調査検討していきたい。

条例案、補正予算案、当初予算案、およびその他案については、慎重審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



討議の焦点

組織機構の改革に伴う専門部署の設置を！

→ 今後、関係部署を中心に総体的な協議の中で検討する。

獣害対策として大型囲い罠設置後の検証は？

→ 大型囲い罠や花火による追い払い活動を今後も強化・支援を続けていく。



躍進会  
野中国幹 議員

専門部署の設置は

建設工事をはじめ建築等の設計監理業務の委託料について、

議会で見目が高まっている。これらを精査する専門部署の設置が急務と感じられるが、市の見解は。

現在、高度な建築設計の知識を有する職員がいない状況にあるため、建築工事に伴う設計、および施工監理等については、外部発注により業務を委託している。今後は、精通した人材の配置が必要であるため、関係部署を中心に総体的な協議の中で検討していく。

獣害対策に伴う大型おり設置後の検証について

獣害対策として大型囲い罠が市内2カ所に設置され、大きな成果が上がっていると聞いている。そこで、捕獲内容の実情とその後のサル等の群れの状況など追跡調査はされているか。

市内2カ所に設置されている大型囲い罠の捕獲実績は、平成29年度から平成30年度まで59頭が捕獲され、効果は上がっていると考える。市では中山間地に群れを作り行動するサルを、インターネット上から

確認するため「動物位置情報システム」を活用し、行動範囲を把握するシステムを発信している。今年度は新たに塩

前地域に大型囲い罠を設置するとともに、地元農業従事者の花火による追い払い活動の成果等見ながら、今後も対策強化に向けて支援を続けていきたい。



平岡地区に設置した獣害対策用の大型囲い罠

農業振興策として

先般、神奈川県・津久井地域による鳥獣害対策として、大型

型おりの設置情報があり、サルだけでなくイノシシ・シカ等にも対応できる捕獲機とのことである。この大型おりとは遠隔装置によるもので、本市の大型おりとは若干装置が違う罠である。最近では再びサルやシカが出没する状況

であるため、さらなる農業振興策につながるものと思われるが、このような捕獲機の導入について市の見解は。

市では、平成29年度から平成30年度において、平岡地域および湯沢地域に大型囲い罠を設置し、大きな成果を上げている。今後は、赤外線センサーやビデオカメラを連動させた、イノシシ・シカ等に対応した囲い罠による捕獲方法について、関係団体と協議する中で効果的な装置の導入を検討していく。

市立美術館の今後の方針は

美術館は芸術文化の発展や教育研究などを行う使命があるが、中部横断自動車道の全線開通やリニア中央新幹線の整備が進められ、本市の文化拠点をはじめ観光資源としての位置づけが期待されるが、今後の活用計画は。

新たな取り組みとして、観光事業との融合を考え、中部横断自動車道の開通を期に、富士川沿線の芸術文化施設をつなぐ観光ツアーの検討を始めたいと考えている。

その他の質問

・アポ電詐欺防止装置の設置について



## 完熟農園跡地を除いて南アルプスIC周辺一帯における基金条例の制定は時期尚早では？

→ 当面は新産業拠点整備事業に充てる。  
整備は10億円では不足のため基金造成は必要である。

## エコパ伊奈ヶ湖整備計画の様な収益事業をあえて市が行う必要があるのか

→ 観光の収益施設として、子どもや海外の旅行者等、幅広い方々が楽しめる観光収益施設とする。



未来創政の会  
矢崎 俊秀 議員

### 基金と南アルプスIC周辺開発整備について

**Q** 市は、南アルプスIC周辺を、まちづくりの重要な場所と位置づけ、新たな都市機能を構築することにより、地域に活気と賑わいを創出し、地域経済を活性化するために、南アルプスIC周辺開発整備基金を設置する考えである。そこで、10億円の基金を造成するとしているが、10億円の妥当性の根拠と補正対応の必要性についてどの様に考えているのか。

**A** 南アルプスIC周辺の開発については、土地の状況などの基礎調査から、開発に係る可能性を把握し、より相応しい業態による土地活用の方針策定につなげたいと考えている。

**Q** 山梨県がこのほど公表した、山梨県物流等基本計画で本市の重点促進区域の指定は、鏡中条橋西詰めが19ha、南アルプスIC隣接区域5.9haが計画に位置付けされている。この指定をどのように南アルプスIC周辺のまちづくりに生かすのか。

**A** 市は、地域の優位性を活かし、高度活用されることで、地域経済をけん引するエリアとして、県と連携を図る中で、適切な開発整備を進める。

### 農林土木課の所属変更について

**Q** 農林土木課を建設部に編入する組織の改編が示されている。政策と予算は一体でよごまない行政が推進できるものである。市はどのように考えているのか。

**A** 業務に支障は生じないものと考えている。

### エコパ伊奈ヶ湖整備計画について

**Q** エコパ伊奈ヶ湖整備計画の概要が議員に説明されたが、この計画はそもそも何を根拠に整備するのか。

**A** 南アルプスユネスコエコパークの理念に基づき、公約でもある「五感で体験できる楽しみ学びエリアエコパ伊奈ヶ湖」の創出を実現するために実施する。

**Q** 自然を楽しむ。また、自然を生かした教育娯楽施設であることから、その限りにおいて特段の反対する理由はない。しかし、市議会議員の立場からは、今後、少子高齢化社会を迎えて、扶助費が重くのしかかる将来を見据えると財政運営において確

実に厳しい環境が予測されている中で、施設利用が一過性で終わる可能性を否定できない収益事業をあえて市が行う必要があるのか。

**A** 「遊びと癒し」をコンセプトに、森林アクティビティを中心に、観光の収益施設としてグレイドアップし、県内外の家族連れ、小学生から社会人のグループ、海外からの旅行者など幅広い方々が、自然を楽しめる観光施設として整備する。



森林アクティビティのイメージ写真

### ●その他の質問

完熟農園跡地周辺は、どのような都市機能を整備するのか。



討議の焦点

本市の提唱する「スマートウェルネスシティ」の考え方に基づいた地域活性化策について

➔ 健康をキーワードにした事業を実施し、本市の魅力を県内外に発信して、市の認知度・魅力度を向上させ、交流人口・移住定住人口の拡大等に努めていく。



新政南アルプス  
村松 三千雄 議員

**Q** 本市は山梨県唯一の「スマートウェルネスシティ」として、どのような理念をもって取り組んでいるのか。

**A** 「スマートウェルネスシティ」に加盟して3年が経過したが、本市の理念は、市民一人ひとりが健康から幸せを実感できるまちづくりであり、持続可能な社会の構築である。全てのの人にとって関心がある「健康（健康）をキーワードに、政策の実施においては、市民の健康福祉の向上があると考えている。

本年度実施した「健康わくわくウォーク」をはじめ、山梨大学と進めている「電子お薬管理システム」など、「幸せ実感！南アルプス市健康リーグ」としての取り組みは、地域や企業、農協、商工会等と共に、市民の健康づくりを目的に、健康からまちづくりを目指している。

**Q** 本市の恵まれた自然・農業・文化資源を活用し、住む人が誇りと愛着を持ち、訪れる人々に癒しと感動を与えられる、新たな観光事業の展開が必要と考えるが。

**A** 近年の観光動向は、体験交流型観光が主流となってきたおり、健康をキーワードにした観光事業は、新たな取り組みとして注目されて

いる。

本市は、体験交流型観光としてエコパ伊奈ヶ湖に森林アクティビティを中心とした施設を整備し、幼児から高齢者まで幅広い年齢層が、自然の中で健康的に楽しく学び・遊べる施設として、より一層の活用を考えている。

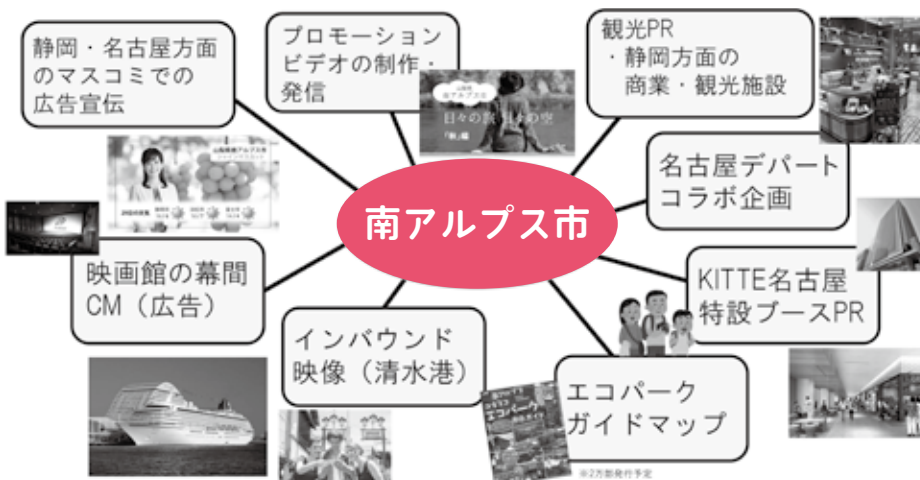
令和2年度からの新規事業として、首都圏に併せ、東海及び中京圏を重点地域とし、「観光プロモーション事業」を実施し、より南アルプス市を知っていただく機会を数多く創出していく。

**Q** 地域の特徴や魅力を想起させるキーワード・統一イメージとして、「市長ビジョン」を掲げ、本市の魅力を発信するべきと考えるが。

**A** 本市の豊かな自然、素晴らしい展望、四季折々のフルーツ、伝統文化の他、充実した子育て支援策など、様々な地域の魅力を有効な資源として活かし、地域の活性化のための施策を本市の重要な施策として位置づけ、取り組んでいきたいと考えている。

令和2年度から、新たにシテイプロモーション事業として、市の魅力を明確にし、共通のコンセプトを設定し、統一性、一貫性のあるメッセージを県内外に発信することで、市の認知度、魅力度を向上させ、「行きたいまち、住みたいまち」に選んでいただき、交流

「観光プロモーション」戦略



観光プロモーション事業のイメージ

人口、移住定住人口の拡大など、市の理想とする姿に向けて活動していく。また、策定する戦略の中で、市の魅力を伝える統一イメージとなるキャッチコピーやロゴなどを設定し、より効果的にシテイプロモーションを進めていきたいと考えている。

## SDGsに対する市の考えと今後の方針は？

→ 南アルプス市も世界の一員であることを強く自覚し、SDGsを意識し取り組む。

## 開発可能な土地を増やすべきと思うが？

→ 優良な農業振興地域を確保する中で設定していきたい。



公明党  
小池 伸吾 議員

### SDGsについて

**Q** SDGsに対する市の考えと、今後の方針は。

**A** SDGsは、持続可能でより良い世界を目指すために、2015年の国連サミットで採択された国際目標である。

17のゴールと、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを理念としている。

これは、市民生活に直結する市政運営においても同様であり、本市が実施する様々な事業は、17のゴールのいづれかに貢献しているものと考えている。

現在、市政運営は、第2次総合計画やユネスコエコパークの理念に基づき実施しているところであるが、昨今の環境問題をはじめ、地球規模で危機感が叫ばれている状況においては、南アルプス市も、世界の一員であることを強く自覚し、SDGsを意識した上で、市政運営に取り組みたい。

**Q** ユネスコエコパークの取り組みとの関連と推進方法は。

**A** 2016年にユネスコ執行委員会において、SDGsの実現

に取り組むため、ユネスコが果たす役割として、SDGsの実施や他機関と連携してリーダーシップを発揮するこ

となどが、方針として示されている。

このため、ユネスコエコパークの理念「自然と人との共生」に基づき関係市町を含めて実施する事業は、必然的にSDGsに貢献するものである。

どちらかを優先するのではなく、目指すゴールは同じところであるので、ユネスコエコパークに関連する事業については、これからも強く推進していく。

持続可能な世界を実現するための17のゴール(SDGs)のロゴマーク



## 土地の有効活用について

**Q** 移住促進を实行する上で、開発可能な土地を増やすべきと思うが市の考えは。

**A** 本市は、中部横断自動車道の開通やリニア中央新幹線の開業などにより、優位な地理的条件を備えた地域になる。

この好条件を活かし、重大な課題である「人口減少傾向」に歯止めをかけるため、若者や子育て世代の移住・定住施策を推進する。

若者・子育て世代の移住・定住を促進するためには、就労機会の確保と移住・定住地の提供が必須となる。

このため、現在取り組んでいる新産業拠点への優良企業の誘致などを含め、市内企業の規模拡大や新規企業の誘致に取り組むと共に、移住先となる住宅用地の確保について、調査研究を図っていく。

しかしながら、市内で開発可能な広範なエリアについては、そのほとんどが農業振興地域であるので、農業振興との調整を十分に協議・検討を重ねる必要がある。

移住・定住を促進するためには、開発可能な土地やエリアを増やさなければならぬことは、十分承知しているが、乱開発は防がなければならない。

本市の優れた交通インフラを活かしつつ、優良な農業振興地域を確保する中で、設定していきたい。



討議の焦点

具体的な計画が出ていない中、10億円という金額はあまりに唐突。なぜ「周辺」なのか？  
なぜ今なのか？

➔ 局面が変わってきている。いよいよ一括管理した完熟農園跡地の開発を呼び水に、その周辺に企業を呼び込んで、南アルプス市全体の活性化の起爆点とする考えである。



日本共産党南アルプス市議員  
松野 昇平 議員

南アルプスIC周辺  
開発整備について

Q 市は、南アルプスIC周辺開発整備について、12haの新産業拠点整備以外に周辺開発整備の計画をこれまで一切示していないにもかかわらず、特定目的基金を設立しようとしている。どのような部署、あるいは庁内組織で、どのような庁内議論がおこなわれたのか。

A 南アルプスIC周辺開発整備の計画については、都市計画マスタープランにおいて、「産業・業務系機能等、本市の発展を誘導する土地利用の検討を進める」ことを位置付けている。また、現在策定中の後期基本計画においても「地域経済の牽引に繋がる開発整備」を位置付ける予定である。

本基金については、これらの方針の下、南アルプスIC周辺を、まちづくりの重要な場所と位置付け、新たな都市機能を構築することを目的としており、このエリアの土地利用の検討や開発整備に向けて設置するものである。基金設置については、財政課との調整の下、南アルプスIC新産業拠点整備室において条例案を作成し、その後、総務課における法務の確認を経て、庁議決定をしたところである。

特定目的基金とは？

大型公共施設の整備など、特定の目的を計画的に実施できるよう資金を積み上げたもの。自治体が条例で設置するため、目的外の事業に充てる場合には、基金そのものを廃止する必要がある。

「コトバンク」より引用

Q 13年前の都市計画マスタープランを持ち出しても困惑は解消されない。今は、12haに集中すべきである。なぜ「周辺」なのか。なぜ今なのか。

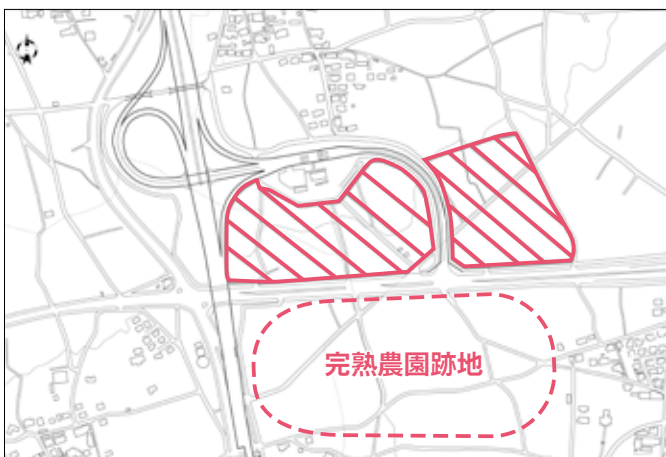
A 局面が変わってきていることがひとつとしてある。いよいよ完熟農園跡地12haを市が一括管理できる状態になった。そして、想定している完熟農園跡地の開発ができれば、その周辺に企業をさらに呼び込んで、南アルプス市全体の活性化のまさに起爆点とする考えである。それで、今回「周辺」としている。

Q 昨年9月から県の計画では、南アルプスICに隣接する5.9haを物流拠点としての促進地域と定めている。この県の計画は、今回の周辺開発の対象となっているのか。また、そのような活用が、基金の目的である「地域に活気と賑わいを創出し、地域経済を活性化すること」につながるのか、市の所見は。

A 南アルプスIC周辺については、中部横断自動車道の開通やリニア中央新幹線の開業などにより、将来的な交通の要衝として、発展的な土地利用が見込めるエリアであると考えている。

市としては、このエリアの一部を、県の物流等基本計画の「重点促進区域」とし、「物流拠点」としての機能も含め、集客、交流、定住、観光など、地域経済の活性化に繋がる機能の整備について、様々な可能性を調査研究していきたいと考えている。

山梨県物流等計画重点促進区域  
(南アルプスIC周辺)



## 少子化に歯止めをかける施策と財源確保は？

- ➔ 充実した子育て支援策の継続と、優良企業誘致による就労環境の整備を進める。

## コミュニティバスとタクシー券に市民からの要望

- ➔ 国土交通省の認可外の運行や、制度の目的外の利用はできない。



新生かがやき  
中込 恵子 議員

### 少子化対策について

**Q** 子どもの数が減り続けることに歯止めをかける根本からの施策と財源を確保する必要があると考えるが、市の考えは。

**A** 子育て支援策の充実を継続するとともに、優良企業の誘致による就労環境を整え、若者や子育て世代のUターンを促していきたい。

**Q** 少子化の元は、未婚率の増加や「経済的不安」、出産した女性の職場復帰の難しさなどがある。価値観の多様性を認め合える社会の醸成、働き方改革推進のための施策は。

**A** 本市では、「産休・育休制度の推進」「時短出勤」「事業所内託児所の設置」など職場復帰がしやすい環境づくり制度の推進をしている。また、企業誘致や再就職支援をさらに進め、働く場の確保に努めていく。

**Q** 本市において男女とも、子育てのための家事、育児のスキル身につける機会が充足しているか。

**A** 保健師、助産師が出産後の早い時期に訪問し、実生活の場面に適した具体的な指導や、離乳食教室などもある。今後とも、夫婦で楽しく子育てが出来る環境づくりに努める。

**Q** 一人ひとり違うニーズに対し、柔軟な対応の子育て支援策ができないか。

**A** 本年度計画した「健康増進計画」、妊娠期からの包括的支援の推進が、少子化対策にもつながると考える。

### コミュニティバスとタクシー券について

**Q** 鉄道が無く、公共交通も乏しい本市の移動手段確保のためにコミュニティバスがあるが、昼間の乗客が少ない時間帯には、市の行事会場への送迎など、フレキシブルな運行ができないか。

**A** コミュニティバスは、コース、料金、運行期間、車両などを定め、国土交通省の認可を受けて営業運行しており、認可外の運行はできない。

**Q** 現在、コミュニティバスは山交バスが運行しているが、それよりも小さな市内業者のジャンボタクシーなどで運行できないか。

**A** 利用者が多い朝夕は、小型車両では対応できず、また、普通のジャンボタクシーでは車椅子での乗車ができない。

**Q** タクシー券を一度に何枚でも使用できるようにできないか。

**A** 本市の高齢者タクシー券は、あくまでも公共交通であるコミュニティバスなどの利用を促すことを目的に、初乗り分に対する補助として交付しているため、金券として一度に複数枚を使用できない。



新たな路線の運行を開始したコミュニティバス(6号車)

### ●その他の質問

「南アルプス市の水」を商品化する考えは。



質問の主題

治水と利水及び  
小中一貫教育  
について



新政南アルプス  
飯野 久 議員

**Q** 甲西地区の洪水対策の進捗状況、防災減災国土強靱化緊急対策事業と地域計画策定は。また、農業用水および飲料水の治水対策は。

**A** これまで国土交通省および山梨県に陳情活動を実施し、知事の回答は、今後の施設の整備方針策定に具体的に検討していくとの事で、調査結果を踏まえ、国、県、市による検討会で協議し、取り組んでいく。地域計画策定は令和2年度に始める。  
農業用水治水対策は徳島堰等の幹線用水確保、散水調整、ため池の放水、各関係機関との協議により治水時に備える。  
飲料水は市企業局の「危機管理指針」

質問の主題

行政改革の  
あり方を問う



未来創政の会  
櫻田 力 議員

**Q** 過去10年間の行政改革の取り組み達成度と財政的効果をグラフにしてみた。取り組み内容に議論の余地がある結果と感じているが、市はどのように捉えるか。

**A** 少しでも改善の余地があるのであれば改善していくべきであり、検討していく。

**Q** 行政改革推進委員会の存在とその活動は、本市の行政改革の推進に、どのような影響を与えているか。

**A** 各委員から、外部の視点や市民目線による客観的な率直なご意見などをいただいております、これら

**Q** 小中一貫教育と義務教育学校との関係性、学校統廃合、教育課程の区割り、独自のカリキュラムは。小中一貫教育のメリットと推進における市民理解を得るための考え方は。

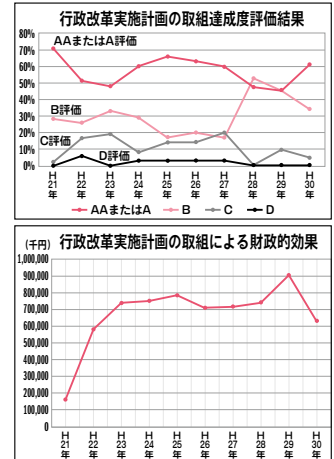
**Q** 情報の発信や共有機能に優れたSNSとアプリケーションを駆使した仕組みを行政システムに取り込み、さらなる事務事業の効率化や市民サービスの向上をはかる考えはあるか。



河川の状況について大塚国土交通副大臣が甲西地区の横川を視察(H31.3)

**Q** 小中一貫教育について

**A** 義務教育学校は小中一貫校の一種で、9年間の教育課程を編成、実施する新しい学校である。本市の小中一貫校では学校統廃合、教育課程の区割り、独自のカリキュラムは考えていない。小中一貫教育の最大のメリットは、小中学校のスムーズなつながりにより、充実した学校教育を実現できる点であり、「小中一貫教育推進基本方針」により進める。先行実施している八田、芦安地区の実例を示し、当該学区の方には、小中一貫教育推進協議会、コミュニティースクールの学校運営協議会の一員として市民会議と協働して一層の理解を求め地域と連携した教育推進に努める。



を関係課と共有し、行政改革の推進に役立ていく。

**Q** 市は、この法律をどのように受け止めているか。この法律を棚田地域の振興に活用する考えがあるか。

**A** 「中山間地域等直接支払交付金制度」で交付を受けている8集落に対し、加算対象となり得る事業に取り組み意向があるかを、現在、意思確認をされており、地元の意向を踏まえ、慎重に事業を進めていく。

**Q** ICTやSNSの活用を、令和2年度に実施する「南アルプス市行政改革大綱」の策定に合わせ、検討していく。

**A** ICTやSNSの活用を、令和2年度に実施する「南アルプス市行政改革大綱」の策定に合わせ、検討していく。

## 質問の主題

### ごみの減量化とリサイクル等の環境対策は



公明党  
河野 木綿子 議員

**A** 水質の保全やマイクロプラスチックを含むごみの対策として、今後、リユースの促進、分別収集の一層の推進、不法投棄の抑制や早期発見、プラスチックごみの発生抑制につながる取り組みを強めると共に、国

**Q** 私たち公明党山梨県本部女性局では、「マイクロプラスチック汚染の課題と対策」について専門家と市民団体の視点を通じたウェビナーズトークを開催した。そこで、マイクロプラスチック汚染が河川において確実に汚染拡大があることが分かった。この現状を踏まえ、本市におけるプラスチックごみ削減への対策は。

**A** 令和2年度からは、産前産後ケアセンターの利用料金について、県市で負担額を増額することを予定する。

**Q** 育児は、思うに任せないことと連続だ。双子や三つ子といった多胎児を育てる保護者の負担は大きい。こうした多胎児を育てる家庭を支援する事業を実施する市町村へ、国が半額補助する政策を打ち出した。本市で多胎児家庭への支援を実施する考えは。

**Q** 多胎児家庭への支援について  
や県の指導の下、先進地事例などを参考に、調査研究をしていく。

●その他の質問  
ごみ対策は他に2項目  
マイナンバーカードを活用した取り組みについて  
遺族の負担を軽くするための(仮称)「おくやみ窓口」の設置について



仲良くベビーカーに乗る双子

多胎妊婦や多胎育児家庭に対して、今後も寄り添いながら支援を継続していく。

## 質問の主題

### 八田児童クラブは学校敷地内に整備を



新政南アルプス  
有野 一成 議員

**A** 八田児童クラブについては、問題を認識している。喫緊の問題を整備すべきと思うが。

**Q** 保護者の要望から、夏休み中の放課後児童クラブの開所時間を7時30分にできないか。  
**A** 令和2年度から支援員の確保ができた施設において、試行的に実施していきたい。

**Q** 食品ロスの削減に関する法律が、昨年成立し施行された。国は基本方針を策定し、それに伴い市も具体的な推進計画をつくる努力義務が課されているが、市は策定するのか。

### 食品ロスの削減について



放課後児童クラブのようす

**A** 3月に公表される国の基本方針と、これから策定される県の推進計画との整合性を図りながら、市の推進計画を策定していく。  
**Q** 市が食品ロスの削減を推進していくには、しっかりした推進体制をつくること。また、国の基本方針では、地元のフードバンクとの連携や支援が明確にうたわれているが、市の姿勢は。  
**A** 市の担当部局を定めて、全庁的に取り組む推進体制をつくる。また、フードバンク活動は食品ロスの削減を掲げる等、様々な場面で社会貢献にもつながっているため、市は必要に応じて関係、支援に努めていく。



### 質問の主題

## 南アルプス IC 新産業拠点整備 について



新生かがやき  
小林 敏徳 議員

- Q** IC周辺開発整備基金条例にしたのか。
- A** 今更12haの中の開発が議論されてきたのに、なぜ南アルプスIC周辺開発整備基金条例にしたのか。
- Q** 残り5名の地権者へ、その後の交渉経過はどうなっているか。
- A** 今後も交渉を続けていく。
- Q** 南アルプスIC新産業拠点整備事業に係る5億円の基金整備費は、参入する企業の借地料の中に含めて、市に返還させるのか。
- A** 借地料に含めて返還させるのではなく、基金整備等を踏まえ、評価・算定し、適正な対価での賃貸を進める。

- Q** 南アルプスIC周辺は、新山梨環状道路や中部横断自動車道、甲西バイパスなど高規格な交通インフラが集積し、高速道路の静岡への開通や、リニア中央新幹線整備計画の進行など、周辺環境が変わり、都市計画マスタープランでも発展的な土地利用が見込まれる場所として検討を進めてきた重要なエリアである。新年度からは、南アルプスIC新産業拠点整備室に「IC周辺整備担当」を新設し、土地活用の準備を始めたい。
- A** 南アルプスIC周辺は、新山梨環状道路や中部横断自動車道、甲西バイパスなど高規格な交通インフラが集積し、高速道路の静岡への開通や、リニア中央新幹線整備計画の進行など、周辺環境が変わり、都市計画マスタープランでも発展的な土地利用が見込まれる場所として検討を進めてきた重要なエリアである。新年度からは、南アルプスIC新産業拠点整備室に「IC周辺整備担当」を新設し、土地活用の準備を始めたい。

- その他の質問  
入札問題について



旧完熟農園(令和2年4月撮影)

### 質問の主題

## 基金を活用し、 国保税の引き下げを



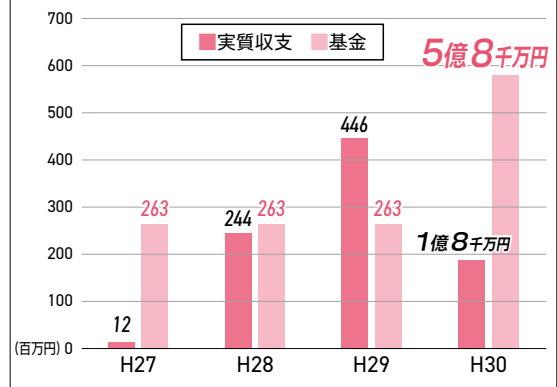
日本共産党南アルプス市議団  
名取 泰 議員

- Q** 本市の国民健康保険財政は、ここ数年赤字が続く、平成30年度決算で基金積立金も5億8千万円となっていることから、国民健康保険税(国保税)の値下げを行うべきと考えるが、令和2年度の見直しは。
- A** 令和2年度の予算編成にあたり、現行の税率で試算した結果、国民健康保険税額は、約1億2,400万円の財源不足が生じる見込みとなった。検討を重ねた上で、先月、国民健康保険運営協議会に諮問し、令和2年度の税率は、基金を充て、据え置くことが妥当との答申をいただいた。市では、

### 国民健康保険について

この答申を踏まえ、令和2年度の税率を据え置くこととしている。

南アルプス市の国民健康保険会計の状況



- Q** 県内でも学校給食費の無償化はさらに広がり、市段階でも富士吉田市が昨年10月から実施している。本市でも無償化を検討すべきと考えるが、市の所見は。
- A** 学校給食費について、直近の平成29年度の全国調査結果では、無償化を開始した目的は、子育て支援や少子化対策、定住転入の促進等となっており、一定の成果が報告されている。しかし、給食費の無償化には、年額で3億1,400万円程度の財源確保が必要となることから、現時点での無償化は考えていない。

### 給食費無償化の取り組みについて



# 常任委員会行政視察報告

## 総務常任委員会

参加者

齊藤 博明議長、矢崎 俊秀委員長、櫻田 力副委員長、  
村松 三千雄、野中 國幹、名取 泰、飯野 久、小林 敏徳

視察先

愛知県半田市、愛知県尾張旭市

視察日

令和2年1月16日(木)～17日(金)

視察内容

「マイルポはんだ」「あさひAEDサポート事業」

半田市のマイルポはんだ事業は、市民がスマホを活用して、道路の陥落や施設の破損などの危険個所をリアルタイムで行政に通報する仕組みを構築したもので、今後の公共施設の効率的な維持管理の在り方として、本市においても検討を要する課題である。

尾張旭市は、AEDが24時間使える設置場所として市内全てのコンビニと協働した救命体制の整備をしている。本市の安全安心なまちづくりの観点からも導入について検討する必要がある。



半田市役所での視察のようす

## 厚生文教常任委員会

参加者

有野 一成委員長、北村 千代子副委員長、松野 昇平、  
戸栗 淳、小池 伸吾、中込 恵子

視察先

新潟県見附市、長野県茅野市

視察日

令和2年2月5日(水)～6日(木)

視察内容

「スマートウエルネスシティ」

健康（健幸）事業に早くから取り組んだ見附市は、市民の健康意識を高めることにより、市民が健康になるだけでなく、結果的に医療費の抑制にも大きく貢献している。また、本事業の発展により、使いやすい公共交通網や地域包括ケア体制の確立にもつながり、市全体が将来を見据えたまちづくりに明確な目標のもとに取り組んでいることに感心した。

南アルプス市も、スマートウエルネスシティ首長研究会のメンバーの一員として、参考になるところを取り入れて市の発展につなげていってほしい。

その他の視察

見附市「SDGs」、茅野市「福祉21ビーンズプラン」



見附市役所での視察のようす

## 産業土木常任委員会

参加者

齊藤 諭委員長、三木 充副委員長、花輪 幸長、  
清水 重仁、河野 木綿子、花輪 進、深澤 米男

視察先

岐阜県恵那市、長野県飯田市

視察日

令和2年1月16日(木)～17日(金)

視察内容

「リニアまちづくり構想」

- 1 リニアを活かした観光振興・まちづくりのための取り組み
- 2 リニアを活かした産業振興・地域振興のための取り組み
- 3 地域づくりを支える基盤整備に関すること

恵那市においても本市と同じく、近隣の自治体にリニア新駅が開設予定。流入人口増加を促進すべく「リニアまちづくり課」をいち早く立ち上げ、「リニアまちづくり基盤整備計画」で、上記の3つの柱のもとプランを練り上げた。リニア開通に期待とウェルカムリニア感の大きさが伺える。

その他の視察

飯田市「リニア駅周辺整備」「クラインガルテン」



恵那市役所での視察のようす

## 公明党

会派のメンバー 代表：河野 木綿子  
小池 伸吾、齋藤 博明

視察先 高知県香美市

視察日 令和2年1月20日(月)

視察内容 地域子ども・子育て支援事業について

香美市では「子育て世代包括支援センターすこやか」を市役所内に開設し、母子保健コーディネーターとして助産師や保健師がおり、母子健康手帳の交付から、妊娠・出産に関する相談、妊産婦の健康相談・栄養相談、子育てに関する相談や支援、子どもの発育・発達に関する相談、授乳に関する相談、離乳食に関する相談、予防接種に関すること、等々の相談を受け、情報提供やアドバイスを行うなど、妊娠中の方から子育て世代の皆さんに対し、支援を行っている。

### 総括

「すべての子どもが生き生きと幸せに育まれるまち香美市」の基本理念の元、まち全体で子育てを応援する中で、子どもたちや親の支援だけでなく、次代のまちづくりも視野に入れた環境作りをしている点など、すばらしいと感じた。また、地域の子どもたちに対し愛情をもって育てている様子が感じられた。



▲香美市役所での視察の様子

### その他の視察

視察先 高知県南国市

視察日 令和2年1月21日(火)

視察内容 学童保育連絡協議会の運営について

視察先 高知県香南市

視察日 令和2年1月22日(水)

視察内容 保幼小中・家庭・地域連携(一貫)教育について

▶ 香南市役所での視察の様子



## 新政南アルプス

会派のメンバー 代表：村松 三千雄  
三木 充、有野 一成、飯野 久、清水 重仁

視察先 岐阜県美濃加茂市

視察日 令和2年1月9日(木)

視察内容 「あい愛バス」について

平成6年に高齢者福祉バスとしてスタートし、平成12年に市民誰でも利用できる「あい愛バス」の運行を開始した。さらに平成29年に市民ニーズ調査等を実施し「美濃加茂市地域公共交通網形成計画」を作成し、大幅な運行見直しを行った。その結果、利用者は、当初(平成12年度)の12,618人から平成30年度は84,759人と大幅に増えている。

### 総括

平成29年10月より新たな編成で再スタートしたことにより、現在の利用者数は当初の8倍の10万人に届く勢いである。人口57,000人の市で3本のJR軌道が交差する駅があり、名古屋の通勤圏であることを考慮しても、的確に調査等を行い再編実施してきたことが伺える。本市においても条件は異なるが、利便性の向上を目指し、ルート、ダイヤ、さらにバス車両について再考の余地があり、引き続き利用促進策の検討を進めていく必要性を感じた。



◀美濃加茂市役所での視察の様子

「あい愛バス」事業に関連した各種パンフレット▶



### その他の視察

視察先 三重県木曽岬町

視察日 令和2年1月10日(金)

視察内容 地域BWA(ブロードバンドワイヤレスアクセス)を活用した安全・安心まちづくりについて

## 躍 進 会

会派のメンバー 代表：野中 國幹  
戸栗 淳、花輪 幸長、北村 千代子

視 察 先 愛知県岩倉市  
視 察 日 令和2年2月12日(水)  
視察内容 企業立地の推進について

平成22年度岩倉市都市計画マスタープランを策定、地域からの開発への強い要望を受け、平成27年度に産業への受け皿としての可能性を検討した。

- 開発面積 約9.3ha
- 事業主体 愛知県企業庁
- 事業期間 令和元年度～令和4年度(予定)

### 総 括

愛知県企業庁で「立地エントリー制度」を実施し、県企業庁から職員1名が出向し、事業推進が行われている。各自治体独自で取り組む方法とは大きく異なると感じた。



▲岩倉市役所での視察のようす

視 察 先 静岡県浜松市 JAとびあ浜松  
視 察 日 令和2年2月13日(木)  
視察内容 ファーマーズマーケット三方原店について

JAとびあ 浜松管内で採れた野菜、花、果物、卵、その他加工品を管内4店舗で販売している。

- 三方原店の売上実績 9億4,700万円/年
- 客数 486,000人/年
- 職員数 正職員2名 パート職員80名

### 総 括

出荷品目 野菜類  
120品目、果樹等  
38品目、全国1位  
の農家数を保有し  
ている。直売所に  
協力している農家



▲ファーマーズマーケット三方原店のようす

数も多い、運営面では職員数を少なくし、企業努力をして経営していることに痛感した。

## 未来創政の会

会派のメンバー 代表：深澤 米男  
櫻田 力、矢崎 俊秀、斉藤 諭

視 察 先 大分県大分市  
視 察 日 令和2年2月5日(水)  
視察内容 大分市議会議員政策研究会について

大分市議会は、全議員が参加し、市民本位の立場で会派を超えた政策研究に取り組み、政策的条例案の策定や市長に対する政策提言を行うための「大分市議会議員政策研究会」を立上げて、2年間に1テーマのペースでとりまとめを行っている。その進め方は、議員がまちづくりの思いをプレゼンすることからはじまり、役員会議、推進チーム会議、全体会議、先進地視察、市民懇談会などを重ね、議会の総力を結集した活動となっており、本市議会でも取り組むべき「議会のあり方」と強く感じた。

▶大分市議会での視察のようす



視 察 先 大分県別府市  
視 察 日 令和2年2月6日(木)  
視察内容 おくやみコーナーについて

別府市の「おくやみコーナー」は、「死亡」に伴う手続きの簡略化、迅速化と取り組み、悲しみを抱えながら来庁される市民へのサポート体制の充実をはかったもので、本市でも導入を検討すべき内容と強く感じた。



◀別府市「おくやみコーナー」

### その他の視察

視 察 先 大分県豊後大野市  
視 察 日 令和2年2月6日(木)  
視察内容 「みちの駅きよかわ」

## 日本共産党南アルプス市議団

会派のメンバー 代表：名取 泰  
松野 昇平

視 察 先 千葉県船橋市 社会福祉法人地蔵会

視 察 日 令和2年2月13日(木)

視察内容 障がい者雇用の取り組みについて

千葉県船橋市の社会福祉法人「地蔵会」が運営する福祉事業所『空と海』は、開設から25年、心身に障がいのある利用者が働きながら自立した生活を送れるように支援するとともに、利用者の個性が活かされる施設運営を進めて来た。そうした理念のもと、漉き和紙を使ったタペストリーや木工製品などを作成し、これが東京の有名デパートでの展示会などで高い評価を受け、販売・収入につながってきた。

運営や建設に、行政からの補助金や貸付金が充てられているが、事業収入は着実に右肩上がりで、利用者には作業工賃規定に準じた工賃と年2回の一時金を支給している。

会派では今回の視察内容をもとに、障がい者雇用や支援策、障がい者雇用と結んだ魅力ある場所づくりなどを提案していく予定である。



▲地蔵会のスタッフから取り組みについて話を聞くようす



▲地蔵会の事業所「空と海」の利用者の作業風景

## 新生かがやき

会派のメンバー 代表：小林 敏徳  
中込 恵子、花輪 進

視 察 先 愛知県東海市

視 察 日 令和2年2月12日(水)

視察内容 いきいき元気推進事業について

東海市は、産業に恵まれ経済的には安定しているが、以前は平均寿命の順位が低く、市民の健康意識も低かった。そこで、平成23年度から、『目指せ健康寿命日本一』をテーマに、健康応援情報提供事業や運動、食生活応援メニューなど、東海市独自の取り組みである『いきいき元気推進事業』を展開し、市民が自然と健康づくりに取り組める環境を整備してきた。

### 総 括

成果として、平均寿命は平成17年の、男性78.4歳、女性85.4歳から、平成27年は、男性81.1歳、女性86.8歳に向上。

特定健診受診率は、平成21年の48.2%から、平成29年は51.4%に向上など、地道な結果が出ている。



▲市民で賑わう市営のトレーニングルーム



▲東海市役所での視察のようす



▲食生活応援メニューの紹介

### その他の視察

視 察 先 愛知県知多市

視 察 日 令和2年2月13日(木)

視察内容 コミュニティ活性化委託事業について

# 議 会 活 動 報 告

## ◎ 関東市議会議長会第2回支部長会議

令和2年1月23日に群馬県前橋市の前橋さくらホテルにて関東市議会議長会第2回支部長会議が開催され、齊藤博明議長が出席しました。会議では令和2年度予算(案)や災害時における慶弔規定の一部見直しなどについて協議がされました。



## ◎ 山梨県市議会議長会議員合同研修会

令和2年2月4日にアピオ甲府にて山梨県市議会議長会議員合同研修会が開催されました。県内13市議会の議員が参加し、元プロ野球選手・アテネオリンピック日本代表の小林雅英氏を講師に迎え「野球と地域と私」をテーマに講演をしていただき、スポーツを通じた地域経済活性化について考える機会となりました。

## ◎ 第35回山梨県市町村自治講演会

令和2年2月4日に山梨県自治会館にて第35回山梨県市町村自治講演会が開催され、キャノングローバル戦略研究所研究主幹の宮家邦彦氏から、「地政学と日本の大戦略」と題して、地方自治をとりまく環境変化に対応する地域振興の方策等について講演していただきました。



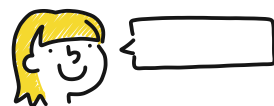
## ||||| 山梨西部広域環境組合議会 |||||

新ごみ処理施設建設に伴い、山梨西部広域環境組合が令和2年2月に発足し、第1回定例会(3月)において、山梨西部広域環境組合議会議員に、北村千代子議員、矢崎俊秀議員が選任されました。

# 請 願 の 審 査

## ◎ 消費税廃止山梨県各界連絡会提出の請願は継続審査

松野昇平議員が紹介議員となり消費税廃止山梨県各界連絡会から、国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願がありました。総務常任委員会に付託し議論されましたが、さらに調査研究が必要として継続審査となりました。



金丸 武士さん

📍 地区 / 今諏訪

同じ時期に県議会、市議会を傍聴して感じることは市議の皆さまは、会派と関係なく自身の政治哲学、信条がよくわかり興味があります。私は、老人クラブに参画している立場から、代表質問に「超高齢化」を取り上げてほしいと思います。事由は、半世紀前の老人福祉法にほころびが出てきました。元気な高齢者が多くなったのは、日本の経済力と比例する善と理解しています。一方、地域支えあい協議体なる施策を含め、衰退地区の老人クラブについて議員さんの研究テーマになればと思います。

また、小学生の議会傍聴や女性議会がありますが、お年寄りの議会傍聴や出前議会を企画してほしいです。今、老人クラブのパワーを社会は活用すべきです。本音は旅先を探しています(笑)。

折しも、今年は市議会議員選挙の年です。お年寄りの皆さんは、100歳体操やグラウンドゴルフに新たに、市民バスを利用され議会傍聴にでかけましょう。庁舎も職員も素晴らしくなりました。



矢崎 仁さん

📍 地区 / 有野

### ● 政務活動について市政への問いかけ及び事後検証

毎年、各会派において政務活動として県外先進地への研修・視察を行っており、政務活動報告として内容等が市議会だよりに掲載されています。研修・視察の内容、総括に対しては特に問題ないのですが、その研修・視察内容について市政に反映されているのかが見えてきません。議会として市政に研修・視察内容に対して具体的に提案し、その結果を市議会だより等で知らせていただければ幸いです。

市民から  
ひ・と・こ・と  
募集中

あなたの意見を『議会だより』で発表してみませんか。

市議会に対する意見や『議会だより』の感想をぜひお寄せください。【400字以内にまとめてください。】

提出先

〒400-0395 南アルプス市小笠原376 南アルプス市議会事務局 宛  
メール: gikai@city.minami-alps.lg.jp FAX: 055-282-6459



## 議会を傍聴してみませんか？

事前申込不要 委員会も傍聴可能

### 第2回定例会の会期予定

|         |          |
|---------|----------|
| 6月 5日   | 本会議(初日)  |
| 16日~17日 | 代表・一般質問  |
| 18日~24日 | 常任委員会    |
| 29日     | 本会議(最終日) |

※日程等は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。  
(日程が変更になる可能性があります。)

### ● 第1回定例会の傍聴者数: 23人

※報道関係者14人は除く

## 編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。誰も経験したことのない、世界規模の大災害になってしまいました。私たちの生活への影響は、マスクや消毒薬が手に入りにくくなったことから始まり、ついに緊急事態宣言が全国に拡大され、感染拡大を抑えるため、大幅に人の動きを制限し、ゴールデンウィーク明けまでステイホーム＝『家に居ること』が求められています。それは何より皆の命を守るため、感染爆発して医療現場の崩壊を防ぐためです。感染リスクにさらされながら働かざるを得ない、医療従事者、生活必需品を供給する生産者や流通業、配送業、保育、介護など、私たちの生活を支えてくださっている皆さまには、心から敬意と感謝を申し上げます。力を合わせて新型コロナウイルスの感染拡大を抑えましょう。

議会だより  
編集委員会

委員長 / 中込 恵子 副委員長 / 野中 國幹  
委員 / 松野 昇平、三木 充、有野 一成、櫻田 力、  
北村 千代子、小池 伸吾

